

# 北岳バットレス第4尾根登攀（個人山行）

（報告） F 島

◎期日：2021年10月3日～5日

◎メンバー：F 島（L）、K 藤

北岳バットレスを知ったのは、10年位前に白峰三山を縦走した時でした。高さ約600mにも及ぶ日本最高所の岩壁であり、ロッククライミングのメッカであると。当時興味は湧かず、まさか自分の意志で目指す事になるとは夢にも思わなかったのですが、シリウスに入ってF野さんからバットレスの話を伺い、自分も登攀して山頂に立ってみかけたのです。

GWに、K藤さんと相談してバットレス4尾根登りましようということになり、8月初旬に決行を計画していましたがコロナが蔓延して延期とし、拠点となる白根御池小屋が蔓延防止法の影響で休止となってしまいました。そして、10月より白根御池小屋が再開になり平日登攀狙いで休暇を取り、決行しました。

## 予定ルート

1日目：広河原～白根御池小屋～バットレス沢（下見）～白根御池小屋

2日目：白根御池小屋～bガリー大滝経由で4尾根登攀～北岳山頂～白根御池小屋

3日目：白根御池小屋～広河原（予備日でしたが、3日目までかかりました）

## 1日目

甲府駅でK藤さんと待ち合わせをして、バスで広河原まで向かいます。登山者は他に4名程。広河原に着くと、早くも北岳を拝めることができました。「あれ登るのかー」と心の中でつぶやきます。天気は快晴で、野呂川にかかる吊り橋を渡り白根御池小屋を目指します。それにしてもザックが重い。アルパイン装備でテント有りは初だったので、ずっと使っている大きいザックで何とかギリギリでパッキングした感じです。

道中、登山者がどんどん下山してきます。皆さん、笑顔で談笑しながら降りてくる人が多い様な気がしました。汗タラタラかいている我々とは対照的です。

思ったより早く、2時間強で白根御池小屋に到着。いい雰囲気の小屋です。K藤さんは小屋素泊まりで、私はテント泊をします。今日はこれから明日の下見に行かなければなりません。小屋に着くと、北岳方面は段々とガスが立ち込めてきて、恐れ多い雰囲気を醸し出しています。肉眼でも明日登攀するルートにあるマッチ箱が見えるくらいに細かい箇所まで見えました。



広河原より北岳



白根御池より北岳

二股分岐で大樺沢ルートに合流し、バットレス沢入口まで下見に向かいます。時間的にbガリー大滝まで行くのは困難であるため、バットレス沢の目印であるボルダー岩と、右岸の踏み跡を確認し、下見終了としました。山の中腹は黄葉に色づいており、秋真っ盛りといった様相でした。



ボルダー岩

バットレス沢入口

## 2日目

夜中3時頃小屋を出発し、ゆっくり足を進めます。K藤さんも私も体調はまあまあ。昨日下午見したため迷わずバットレス沢入口まで到達できました。ここからは、踏み跡を頼りに慎重に進みます。踏み跡はわかるのですが、途中道が悪く、時折藪の中に入り木々の枝を避けながらかなりの急登を上がっていく箇所があります。バリエーションルートだから仕方ないですね。

4尾根取付きまでの下部岩壁ルート選択で、bガリー大滝、dガリー大滝、第五尾根支稜とルートの候補を3種類調べましたが、後者2ルートは緩傾斜体を右に大きくトラバースするので、それを嫌ったのとbガリー大滝のルートの方が分かり易そうと思いbガリー大滝を選びました。十字クラック、cガリー大滝は難易度が高い様なので候補から外しています。



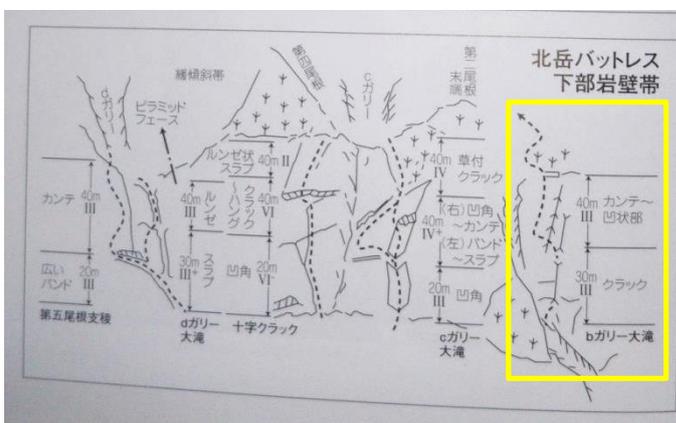
鳳凰三山方面

標高を上げるに連れて周囲が開けてきて、鳳凰三山方面がうっすら明るくなってきました。眼前にbガリー大滝が見えて、取付きまであともう少し。



bガリー大滝方面

取付きにつくと、我々が一番乗りでした。この後も他のパーティーに会う事はなく、登攀箇所は終日貸切り状態でした。小休止をして、クライミング装備の準備をします。岩の難易度と状態を見ると、アプローチシューズで十分と判断しロープを使って登攀開始します。



下部岩壁帯トポ図



bガリー大滝取付き

・ b ガリー大滝 1 ピッチ目 (F 島リード)

クラック沿いを直上する。途中 10~15m 程登っても中間支点を見つけられず焦ったが何とか見つけることができ一安心。約 30m 登って終了。

・ b ガリー大滝 2 ピッチ目 (K 藤さんリード)

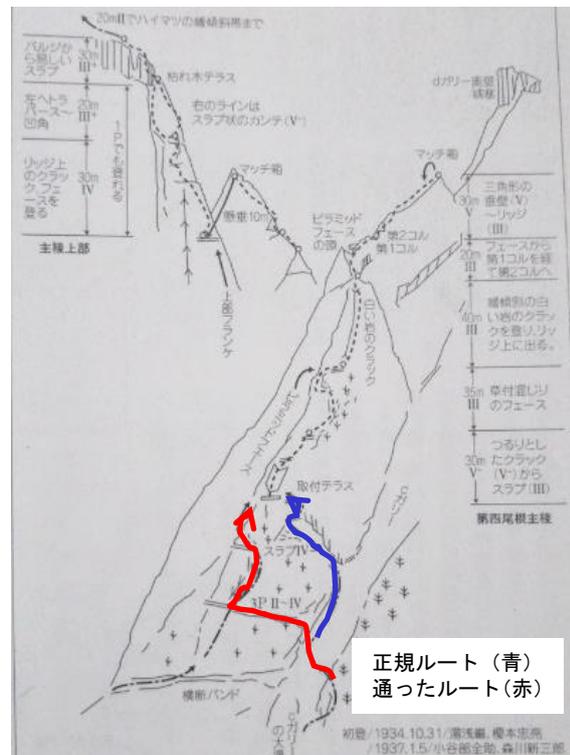
トボ図だと左上することになっているが、直上し右側に逸れてしまった。本来の終了点ではない右上の立木で終了。

さて、本来のルートに戻るため藪を漕ぎながら登り、藪を脱出してザレ場を更に登っていくが、このままだと第二尾根に向かってしまうため、左側へトラバースします。何とか b ガリー大滝終了点上部左側の FIX ロープが掛かっている踏み跡入口を発見し、正規ルートに復帰できました。序盤から藪漕ぎで焦りましたが、K 藤さんの冷静な対処でリカバリーできました。右記、N 山さんから頂いた地図が役に立ちました。ありがとうございます。



正規ルート (青)  
逸れたルート (赤)

低い藪の中、踏み跡を辿った後、c ガリーを渡り、c ガリーの右岸を上詰めていきます。ガラガラ石が落石を誘発しそうで危なっかしい。ここで「4」のペンキが塗ってある目印の箇所を左に入り、ヒドゥンスラブを登っていくのが正規ルートですが、途中人が入った踏み跡があったためそこに入ってしまった。「4」の目印がないからおかしいなと思いながらもここでヒドゥンスラブがないので違うことに気付くはずですが、私が判断ミスしました。踏み跡を辿ると、支点とスリングがあるテラスに到着します。4 尾根であることは確かなのですが、4 尾根 1 ピッチ目の取付きテラスとは違う様相です。ここを登れば 1 ピッチ目に着くことを信じて、クライミングシューズに履き替えてこのリッジを登攀します。



第 4 尾根トボ図 (枯れ木テラス崩壊前)

ここは、取付きテラス下の 3 ピッチのいずれかのようなようです。

・ 4 尾根下部 1 ピッチ目 (F 島リード)

リッジを右側から登っていく。体感としては IV 級くらい。スリングがある終了点に着くが、4 尾根 1 ピッチ目ではない。

・ 4 尾根下部 2 ピッチ目 (F 島リード)

今度は左から入ってリッジを登っていく。なかなか侮れないピッチだ。こちらも IV 級位か。終了点に着くが、これまた 4 尾根 1 ピッチ目とは違う。次こそは着きたい。

・ 4 尾根下部 3 ピッチ目 (K 藤さんリード)

リッジの左を登るスラブ。やっと 4 尾根 1 ピッチ目取付きテラスに到着でき、少しほっとした。まだ 9 時前なので、挽回できる。前後にパーティーなし。

・ 4尾根1ピッチ目 (F島リード)

4尾根の中では比較的難しいピッチになるが、クラックでレイバックとフットジャムを効かせて問題なくクリアできた。終了点までは易しいスラブを登る。

・ 4尾根2ピッチ目 (K藤さんリード)

1ピッチ目の続きのような感じで易しいスラブ。

・ 4尾根3ピッチ目 (F島リード)

白い岩のクラックと言われるピッチで、ほぼスラブ。ピラミッドフェースの頭でピッチを切った。



1ピッチ目スラブ (K藤さん)



3ピッチ目終了点 (F島)

・ 4尾根4ピッチ目 (K藤さんリード)

V級の三角垂壁は難しそうと思ったがクリアできた。第2コル?でピッチを切った。

・ 4尾根5ピッチ目 (F島リード)

高度感があるリッジを登る。着いた終了点はマッチ箱の先端だ。K藤さんから順番に上部フランケの斜面まで10m程懸垂下降。

・ 4尾根6ピッチ目 (K藤さんリード)

スラブ上のフェース。マッチ箱の先端高さくらいところでピッチを切る。ここで休憩。



マッチ箱



6ピッチ目終了点 (K藤さん)

・ 4尾根7ピッチ目 (F島リード)

リッジ上のクラック、フェースを登る。両側がスパッと切れていて高度感がひしひしと伝わってくる。下を覗き込むと足がすくみそうなので目の前に集中した。ホールド、スタンスがやや悪い。途中ロープがキンクしてしまい、支点を取ったカムのカラビナにロープが引っかかり引き上げられなくなってしまった。仕方なくロープ1本外して下にロープダウンしたとき、落石を発生させてしまった。大事には至らなかったが、漬物石くらいの大きさだったので肝を冷やした。K藤さんすみませんでした。枯れ木テラスでピッチを終えたかったがロープ長が足りず5m程手前の錆びたリングピン1つを使いピッチを切った。

強度は問題なさそうだが、やはりリングピン1本では不安である。もしこれが抜けたらと思うと、早くこの場を回避したい思いだった。また、クライミングシューズがきつく足が痛くなってきた。早く平らな所で休みたい。

#### ・4尾根8ピッチ目 (F島リード)

枯れ木テラスまでK藤さんに登ってもらい、枯れ木テラスからビレイをしていただいた。崩壊箇所は、痛々しく凄まじい事になっており、えらい場所に来てしまったと感じた。崩壊を免れたリッジを左側にトラバースし、城塞ハング下まででこのピッチは終了。



7ピッチ目 (左上は城塞ハング)

#### ・4尾根9ピッチ目 (F島リード)

いよいよ、最終ピッチの城塞ハング。ここはdガリー奥壁の最終ピッチでもあり、枯れ木テラス崩壊後は4尾根の最終ピッチにもなっている。疲労のためか1箇所クイックドロローを掴んでA0してしまった。誘惑にやられた。まだまだ修業が足りないようだ。

全14ピッチを終えて、登攀終了点に着き、K藤さんと握手。疲労が溜まっていました。K藤さんも相当お疲れのようです。シューズを履き替えてロープをしまい山頂まで登ります。それにしても素晴らしい天気と大パノラマの中、クライミング出来たことは幸運でした。



北岳山頂に着き、念願の記念撮影を撮って頂きました。間ノ岳、塩見岳、仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳 etc..周囲は素晴らしい絶景です。山頂でゆっくりしたい所ですが、遅くなってしまうので白根御池小屋まで下山を開始します。



甲斐駒ヶ岳



仙丈ヶ岳と黄葉

北岳肩の小屋経由で白根御池小屋に着いたのは17時で、広河原発最終バスには間に合わず、今日はまだ1泊して翌日下山することにしました。夕食は、朝食のはずだった小屋のお弁当（爆弾稲荷寿司）の残りです。翌日の3日目、白根御池小屋の朝を満喫しつつ、下山しました。ここは、ロケーション、小屋ともに最高でした。



白根御池から北岳



白根御池小屋

今回、北岳バットレス4尾根登攀を楽しめましたし、バットレスのスケールを感じたこと、アルパインクライミングの経験を積めたことは自分にとって大きかったです。同行していただいたK藤さんに感謝致します。ありがとうございました。

<<参考コースタイム>>

1日目 (10/3) : 広河原 12:20～白根御池小屋 14:34(休憩)～二俣分岐 15:35～  
バットレス沢入口 16:10(下見)～白根御池小屋 17:00

2日目 (10/4) : 白根御池小屋 3:05～二俣分岐 3:40～バットレス沢入口 4:35～  
bガリー大滝取付き 5:45(休憩)～登攀開始 6:00\*1 ～4尾根下部取付き 7:45\*2 ～  
4尾根1ピッチ目 8:55～4尾根3ピッチ目終了点 10:10～マッチ箱 10:50～  
6ピッチ目終了点 11:35(休憩)～4尾根終了点 13:15(休憩)～北岳山頂 14:04(休憩)  
～北岳肩の小屋 14:55(休憩)～白根御池小屋 17:00

3日目 (10/5) : K藤さん 白根御池小屋 4:05～広河原 6:15、  
F島 白根御池小屋 7:45～広河原 9:50

\*1 bガリー大滝2ピッチ目から右に逸れて正規終了点に着けず立木で終了。上へ登り、左側へトラバースすることで、bガリー大滝終了点上部左側のFIXロープが掛かっている踏み跡入口に復帰。

\*2 cガリーを渡った後、4尾根1ピッチ目取付きに入る場所を間違えて、ヒドゥンスラブより下の踏み跡に入ってしまう、意図せず3ピッチ登攀することとなってしまった。